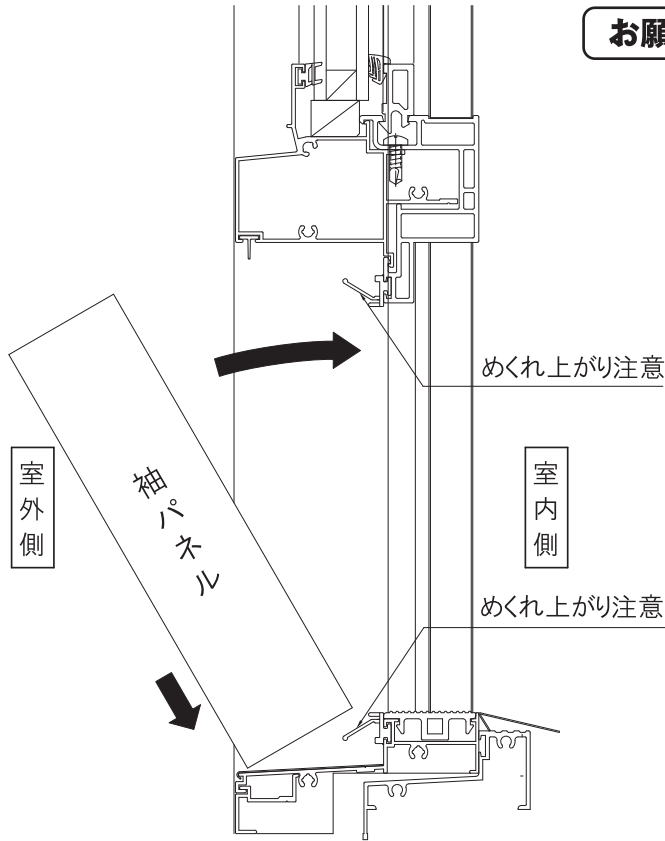


# 製品の組立てと取付け

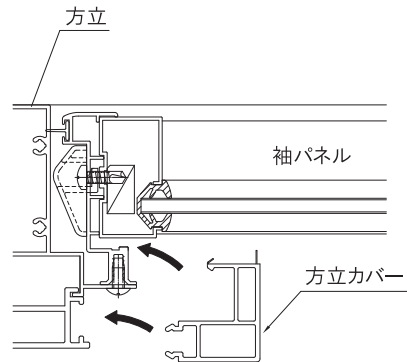
## ●袖パネルの建込み

- 1) 下枠に袖パネルを乗せ、上下枠タイト材がめくれ上がらないように上部を枠内に押し込んでください。
- 2) 建て込み後、室内側より袖パネル同梱の袖パネル取付用ビスにて袖パネル枠を固定し、方立カバーを嵌め込んでください。



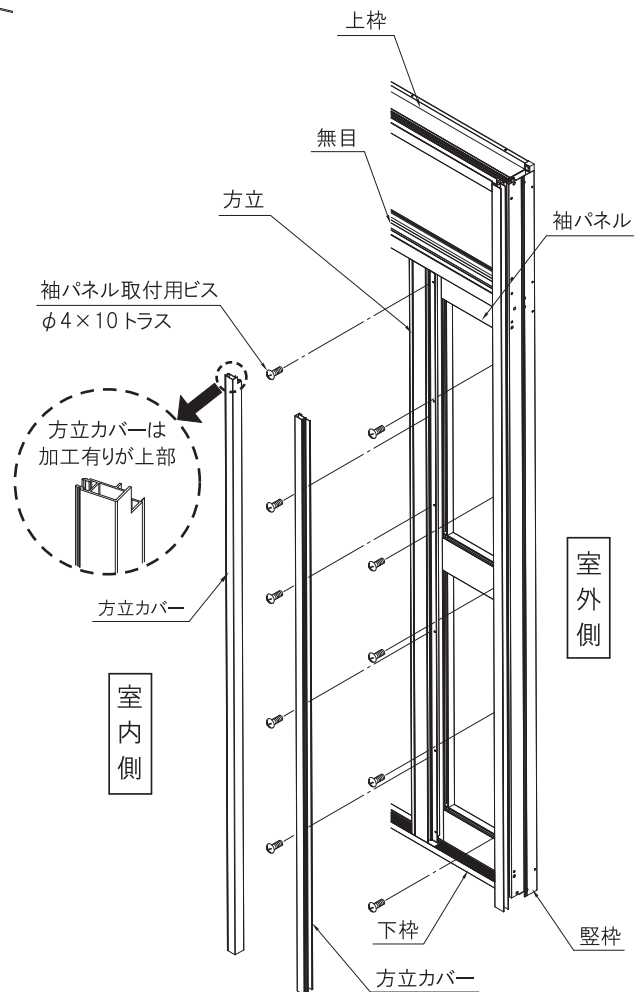
**お願い**

袖パネルの固定は、強力なトルクドライバーなどでねじを締めすぎると、ねじがゆるくなりやすいので注意してください。



方立カバーを図のように嵌め込んでください。  
(固い場合は木片等を当て、叩いて入れてください。)

名称	姿図
① 袖パネル取付用ビス φ4×10トラス	



※本図はらんま付片袖(右勝手)

## ●建付け調整

※この建て付け調整は、枠を取り付けた後で調整が必要になった場合の補助的なものです。

### ・左右方向の調整 (図-1)

#### ドア側丁番での調整方法

<ドア側の調整量>

- 1) ドア本体の丁番取付ねじ4本と中央の丁番裏板取付ねじをゆるめます。

#### お願い

・ネジを完全にゆるめないでください。また、丁番裏板取付ネジをゆるめすぎると裏板が落下しますのでご注意ください。

※電動ドライバーは使用しないでください。

- 2) ドア本体に取り付いているスペーサーを引き抜いて外してください。(図-2)

- 3) スペーサーを2枚外すと3mm、スペーサーを中央で切って1枚外すと1.5mmドア本体が吊元側に寄ります。

- 4) ドア本体の丁番取付ねじ4本と中央の丁番裏板取付ねじを締め付けてください。

図-1

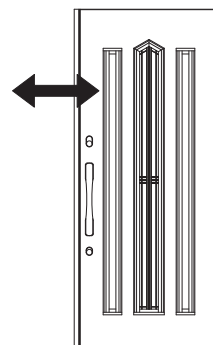
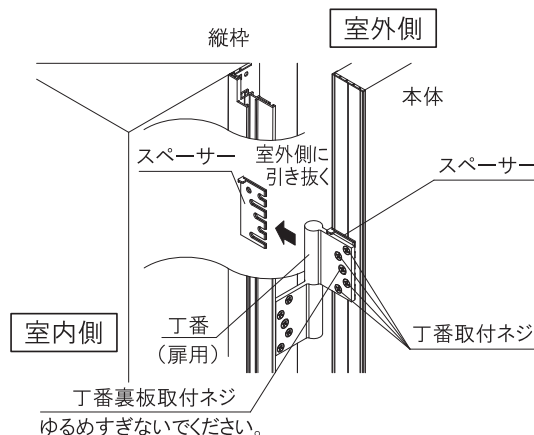


図-2



#### 枠側丁番での調整方法

※この調整には丁番スペーサー (丁番セット同梱) が必要です。(図-3)

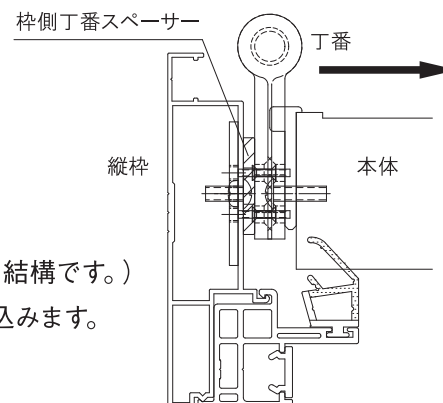
<枠側の調整量>

スペーサーを2枚入れると 3.0mm  
中央で切って1枚だけ入れると 1.5mm 調整できます。

※電動ドライバーは使用しないでください。

- 1) 枠の丁番取付ねじ4本をゆるめます。(中央の裏板取付ねじはゆるめなくて結構です。)
- 2) 丁番セットに同梱されている枠側丁番スペーサーを、枠と丁番の間に差し込みます。(1.5mmドア本体が戸先側に寄ります。)
- 3) 枠の丁番取付ねじ4本を締め付けてください。

図-3



### ・室内外方向への調整 (図-4)

- 1) 枠の丁番取付ネジ4本と中央の丁番裏板取付ネジをゆるめます。

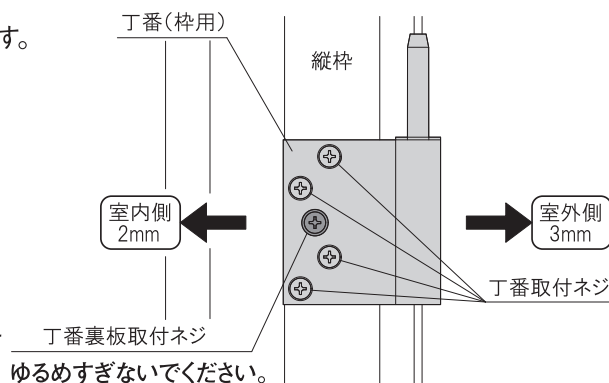
#### お願い

・ネジを完全にゆるめないでください。また、丁番裏板取付ネジをゆるめすぎると裏板が落下しますのでご注意ください。

※電動ドライバーは使用しないでください。

- 2) 丁番を室内側または室外側の調整位置に調整してください。
- 3) 枠の丁番取付ネジ4本と中央の丁番裏板取付ネジを締め付けてください。

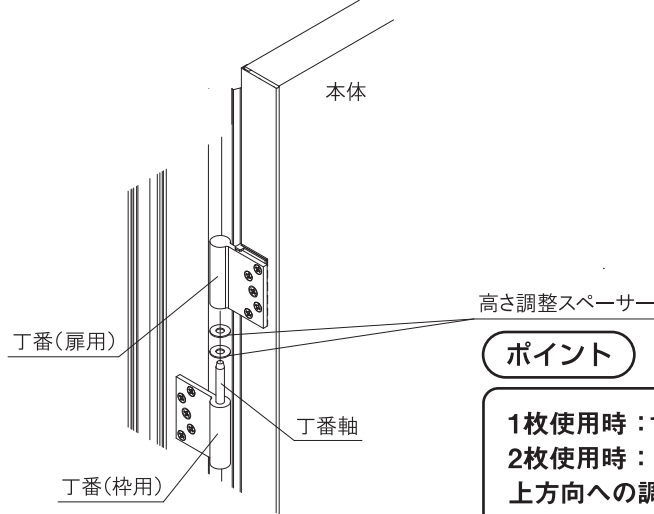
図-4



# 製品の組立てと取付け

## ・上方向への調整

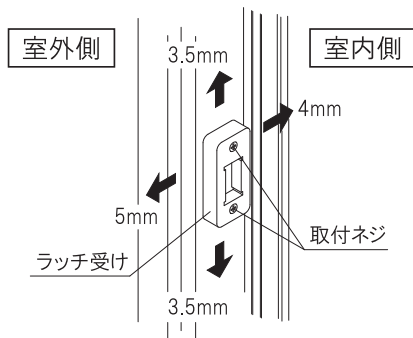
ドア本体を90°以上開いた状態で枠から外し、丁番（枠側）  
丁番軸に付属の高さ調整スペーサーを差込んでください。



## ・ストライクの調整 ※電動ドライバーは使用しないでください。

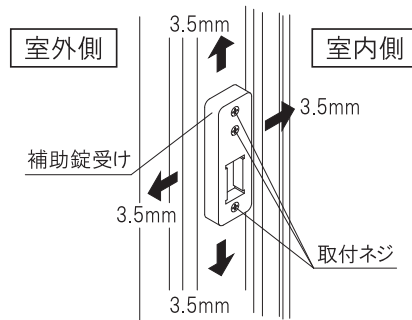
### ラッチ受け調整範囲

ラッチがかからない場合  
ラッチがかからない場合は、ラッチ受けの  
取付ネジをゆるめ、受けの位置を調整後、  
取付ネジをしっかり締め付けてください。



### 補助錠受け調整範囲

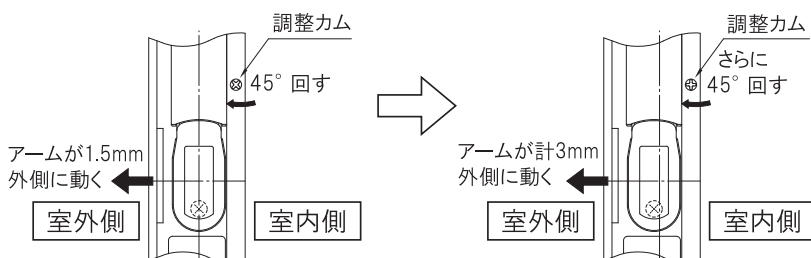
補助錠がかからない場合  
補助錠がかからない場合は、補助錠受けの  
取付ネジをゆるめて錠受けの位置を調整後、  
取付ネジをしっかり締め付けてください。



## ・ガードロックの調整

### お願い

・調整カムを初めの位置から無理やり逆回転に回したり、初めの位置から90°以上無理やり回さないでください。  
調整カムが壊れ、調整ができなくなる事があります。



- 1) 左図の調整カムを 十ドライバーで、  
時計回りに45° 回すと 1.5mm  
さらに45° 回すと 3mm 調整できます。

※本図はR勝手の場合です。L勝手の場合は、  
反時計回りに回してください。

※電動ドライバーは使用しないでください。

## ●内額縁の取付け

①現場の納まりに合わせて内額縁(縦)を切り詰めます。縦通しを基本としますので、内額縁(縦)を先に合わせてください。

※1 既設枠、既設額縁の形状により納まりがよくない場合は、内額縁のフィンにV溝部分にカッターを何度か入れ、折り取ってください。(図2)

らんま無し親子ドアで内額縁がドアクローザーブラケットにあたる場合にもフィンを取り取ってください。

※2 既存上枠のフィン等が障害になる場合は、形状に合わせて内額縁(縦)上部を切り欠いてください。(図3)

②既設枠が隠れるように、内額縁(縦)を木ネジで固定します。

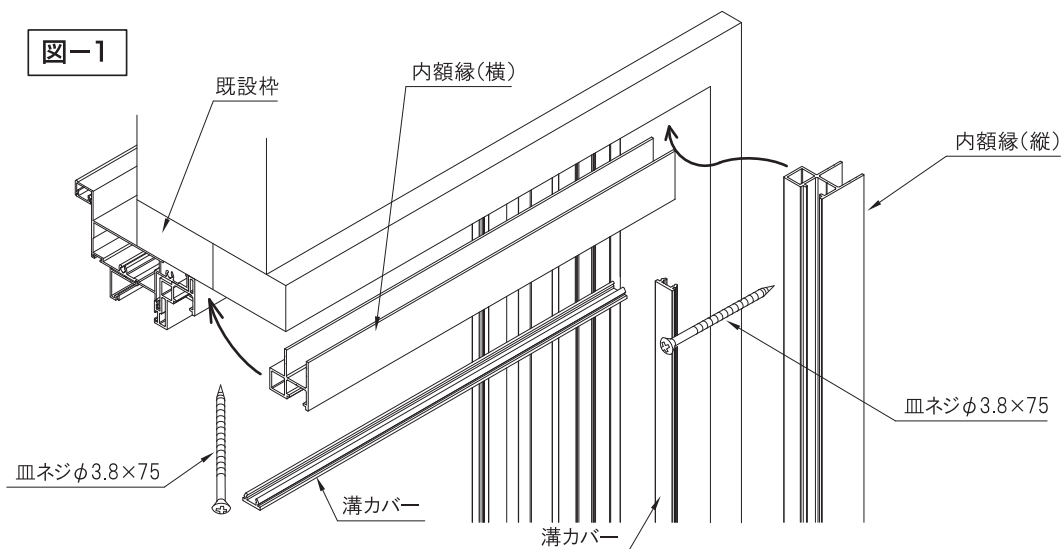
③左右の縦材を付け終わったら内額縁(横)納まりに合わせて切断します。

④既設枠が隠れるように、木ネジで固定します。

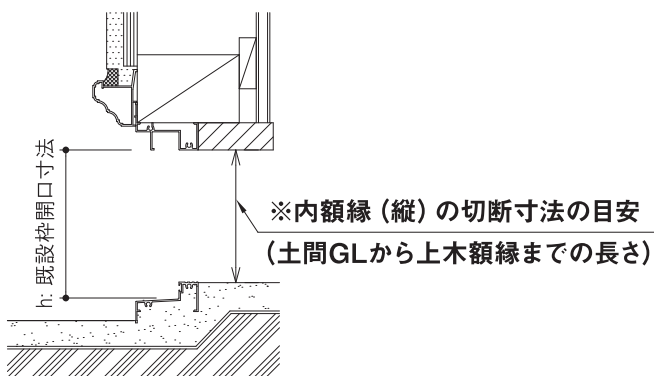
**お願い**

※内額縁が変形する恐れがあるので締めすぎに注意して下さい。

⑤縦、横の溝カバーを現場合わせて切断し、木ネジ部に嵌め込みます。



既設枠縦断面図



既設枠横断面図

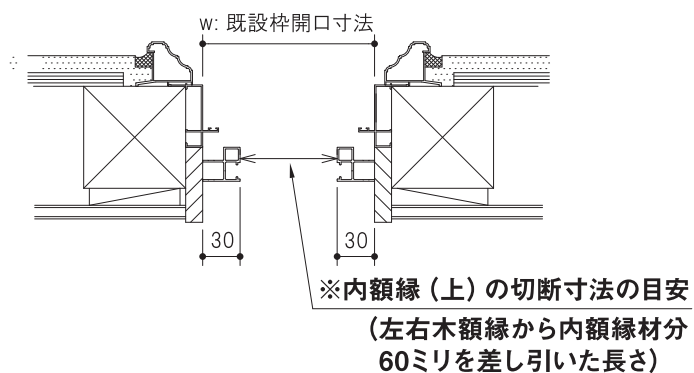
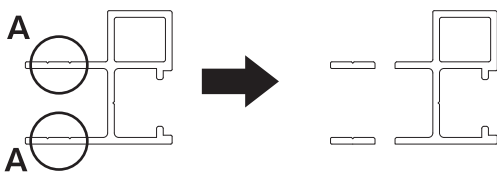


図-2

内額縁フィンカット例

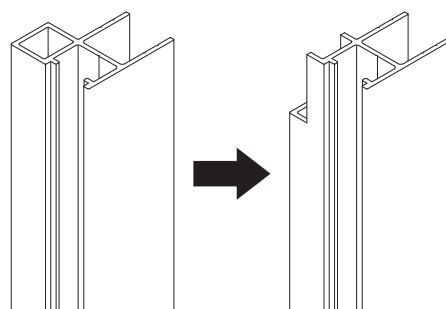


A部拡大図

V溝

図-3

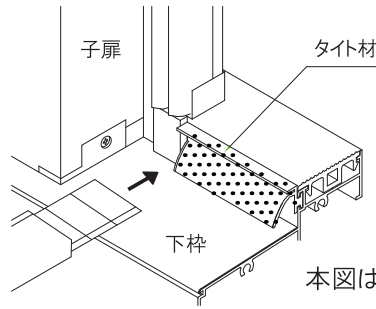
内額縁上部切り欠き例



# 製品の組立てと取付け

## ・下枠タイト材の切り込み

- 1) 親子タイプのドアの場合は右図のように  
(子扉とタイト材の重なるラインで) タイト材に  
カッター、ハサミ等で切れ目を入れてください。



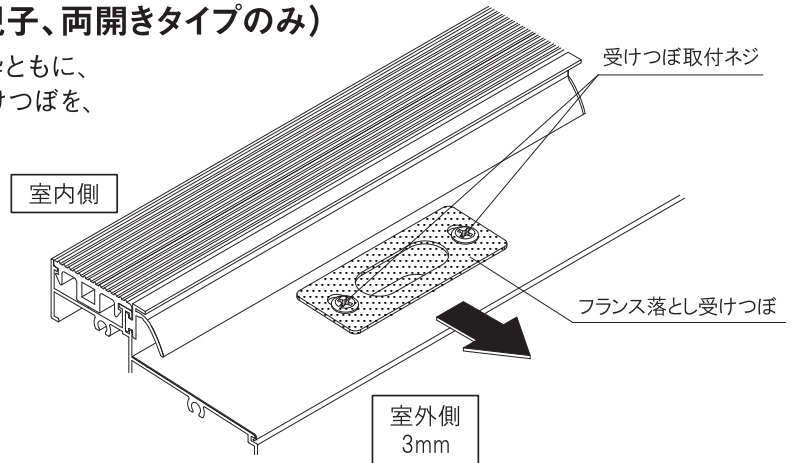
本図は右勝手を示します。

## ・上下枠フランス落とし受けつぼの調整(親子、両開きタイプのみ)

- 1) 親子、両開きタイプのドアの場合は、上枠、下枠ともに、  
受けつぼ取付ネジをゆるめて、フランス落とし受けつぼを、  
3mmまで室外側に調整できます。

※電動ドライバー使用禁止

※本図は下枠を表示しております。



## ・溝ふさぎ材の取り付け

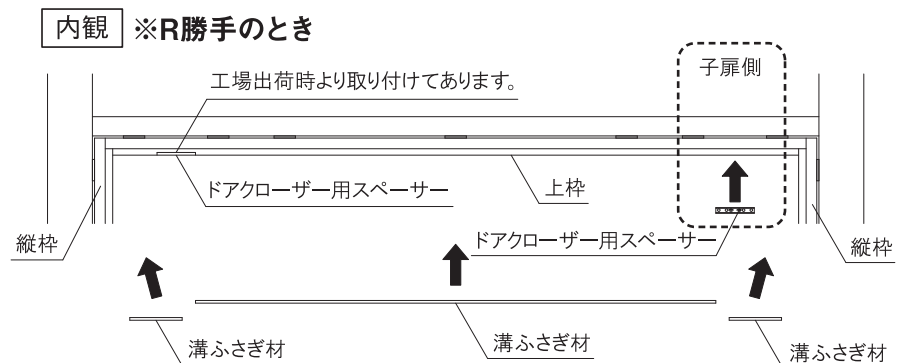
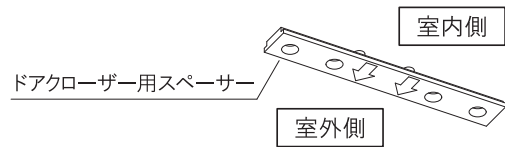
取付木ネジ(内用)にて枠を取り付けた後、必ず溝ふさぎ材を上枠・縦枠にはめこんでください。

### ※両開きの溝ふさぎ材(上用)の取り付け

両開きタイプは、本体側・子扉側の両方にドアクローザー(別途手配)を取り付けることができます。

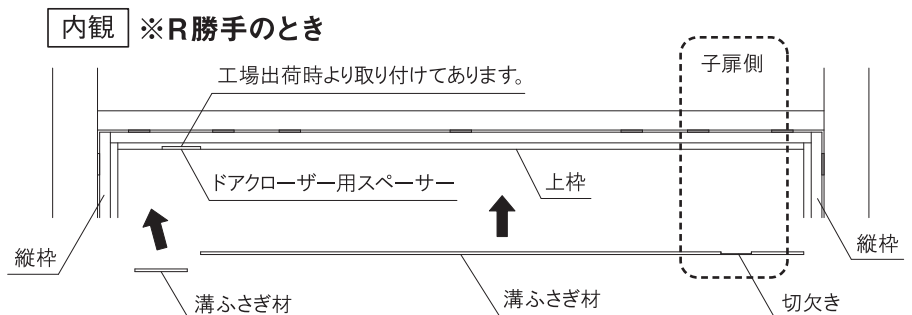
### ドアクローザーを2個取り付けるとき

- ・子扉側にドアクローザー用スペーサーを取り付けてください。  
ドアクローザー用スペーサーは矢印が室外側を指し示すよう  
に取り付けてください。
- ・溝ふさぎ材を3ヶ所取り付けてください。



### ドアクローザーを1個取り付けるとき

- ・溝ふさぎ材を2ヶ所取り付けてください。このとき、切欠き部分が子扉のドアクローザー裏板部分にくるように  
取り付けてください。



## ●外額縁小の取付け

- ①外額縁の縦材・横材を『表-1』及び、『図-1』の切詰め公式を参考に切断します。
- ②外額縁横材を上枠にビス止めします。(図-2)  
両端均等になるように注意してください。
- ③外額縁縦材を縦枠にビス止めします。(図-3)  
上端が外額縁横材の天端と合うように調整して取付けてください。
- ④外額縁に同梱されている溝カバー材を現場に合わせて切断し、嵌め込みます。

### 外額縁小用ビスセット


名称	姿図
外額縁(小)取付ビス セルフドリリングネジ φ4×13	

表-1

	外額縁小(mm)	外額縁大(mm)	外額縁特大(mm)
横額縁切詰め公式	$W-20$	$W$	$W$
縦額縁切詰め公式	$H+43$	$H+112$	$H+172$

※W・Hはスピーディ枠のW・H寸法を示す。

※切詰め公式は目安の長さを算出するもので、納まりによっては追加加工を施す必要があります。

図-2

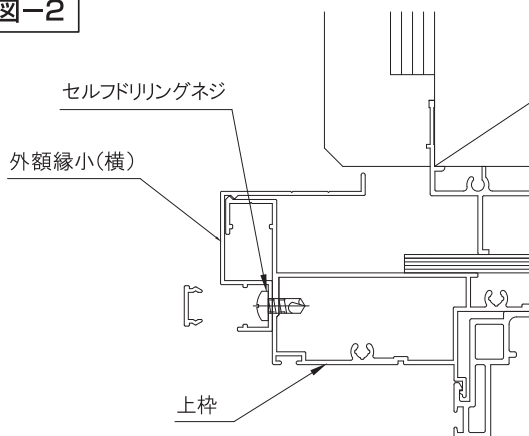


図-3

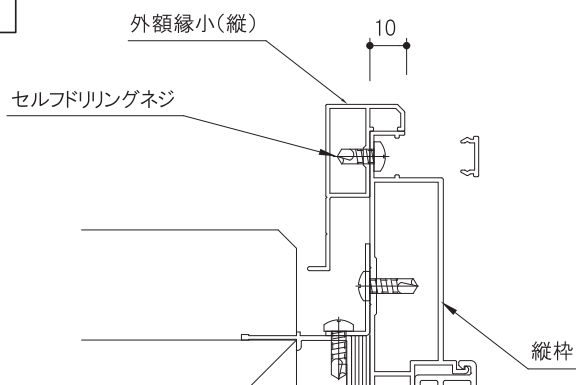


図-1

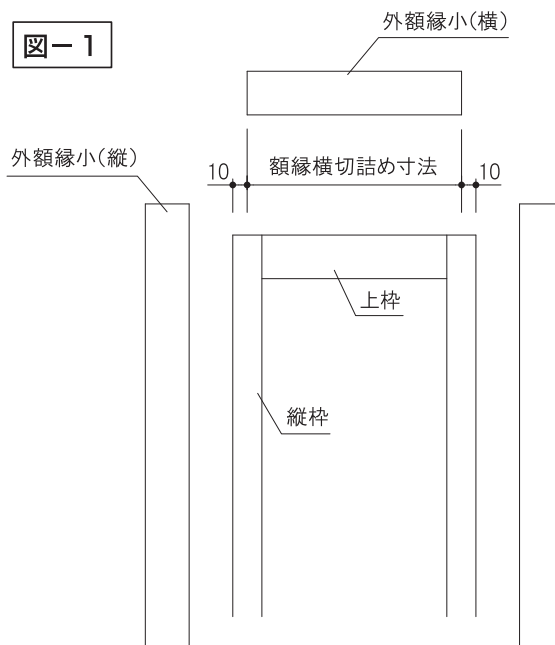


図-4

